

(様式1)

学校名	福島県立橘高等学校	校長	加藤 知道
住所	福島市宮下町7番41号		
TEL	024-535-3395	ホームページアドレス	https://tachibana-h.fcs.ed.jp

「たちばな祭」校内発表について

○「たちばな祭」の概要

本校の文化祭は、2年連続の校内発表、3年に1度の一般公開というサイクルで、例年夏休み後に行われます。中でも特徴的なのは、非公開年度の校内発表において、全クラスが本格的なステージ発表を目指して取り組む演劇です。これは、福島女子高校時代からの伝統でもあります。

非公開ながら、福島県文化センターを会場に、本格的な音響・照明設備を用いて2日間にわたってオリジナル脚本による演劇の発表が行われます。

校内発表では、文化祭実行委員が、企画、脚本審査、大道具審査、リハーサル管理、当日までの会場運営を行い、「たちばな文化大賞」をはじめとする各賞が選ばれます。クラスによっては、夏休みを返上して準備に当たるなど、クラスの団結力を高めることに役立っています。

○令和元年度の「たちばな祭」

令和元年度の「たちばな祭」は、8月26日(月)、27日(火)に「橘花満開～笑顔の花を咲かせよう～」をテーマに福島県文化センターで行われました。この「たちばな祭」は、1、2年生は初めての非公開文化祭であり、唯一経験した3年生は前回、福島市公会堂が会場でしたので県文化センターでの文化祭は初めてという状況でした。しかし、実行委員の努力によりスムーズに進行でき、橘高生の能力の高さを発揮していました。

また、各クラスの演目は、日々、学習した内容をモチーフにした演劇でした。



たちばな文化大賞(1位)



たちばな大賞(2位)



たちばな賞(3位)

○各賞受賞クラスのことは

・「たちばな文化大賞」

「この文化祭を通して、私はクラス全体で協力することがいかに大切であるかを実感しました。普段、距離のある人とも関わったことでクラスの仲はより一層深まり、男女関係なく笑い合った日々は、まさに青春でした。」

・「たちばな大賞」

「私たちが、たちばな大賞に選ばれたのは一緒に劇を作り上げてくれたクラスメイトのおかげだと思います。本番100%とは言えないながらも、舞台上で全力の表現ができたこと、とてもうれしく思います。」

・「たちばな賞」

「手話には、声や言葉と同じくらい、あるいはそれ以上に気持ちを伝える力があります。そんな大きな力を持つ手話を私は一番に伝えたいと思いました。それを伝えられたのは2年6組全員のおかげです。本当にありがとうございます。」

令和元年度たちばな祭各賞受賞クラス

賞	クラス	演目
たちばな文化大賞(1位)	3年7組	ノンフィクションのぼら
たちばな大賞(2位)	3年3組	はかられる命
たちばな賞(3位)	2年6組	今、話したい誰かがいる。
若葉賞	1年1組	ラブ&エンターテイメント
学校長賞	3年4組	みっくすじゅーす
オーディエンス賞	3年5組	俺

作成

2020年4月